

学校運営協議会 議事録

校名	府立 東淀川 高等学校
校長名	森瀬 康之

開催日時	令和 6年 7月 8日 (月) 15 : 00 ~ 16 : 20
開催場所	大阪府立東淀川高等学校 会議室
出席者(委員)	松宮 新吾 委員長 濱野 祐美子 委員 松井久仁恵 委員
出席者(学校)	森瀬校長 坪内教頭 神辺首席・生徒指導部長 尾崎教務部長 長谷川進路部長 渡辺保健部長 寺西情報部長 田淵首席・総務部長 大見生徒会主任 宮前3学年主任 安岡1学年主任 楊多文化主任
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画、同学校評価 令和6年度学校経営計画、各分掌・学年からの目標設定シート
備考	

議題等(次第順)

- ・令和5年度学校経営計画、及び学校評価について
- ・令和6年度学校経営計画について
- ・各分掌・学年等の令和6年度目標について
- ・令和6年度学校概況について
- ・その他

協議内容・承認事項等 (意見の概要)

主な協議内容

- ・特に日本の高校生が「自己決定できない」と言われている。この点を改善するために学校として力を入れている取り組みについて
進路指導部「看護医療コース」「幼児教育コース」では2年次からこれら二つのコースにすすむ生徒を対象に1年時夏休みに病院や保育園・幼稚園での実習に参加するよう指導し、現場で働く人と接する機会を設け、自分の意志を確かなものとさせる場としている。
 - ・実情としてはまだ生徒たちが知っている「世界」は狭い。そこを広げていくことは必要と考えられる。
 - ・遅刻欠席を減らす取り組みについて コロナ感染症拡大を経て「遅刻・欠席」に対するハードルが下がった。様々な事情の中で遅刻や欠席が増加する生徒もいる。様々な事情のある生徒もいるが「遅刻欠席が増えることが通常のことではない」というメッセージは発し続けている。
 - ・不登校生徒への取り組み 教育相談委員会で情報共有し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しつつ指導に当たっている。
 - ・多文化共生の取り組み 多文化部から第一言語での発表の話があった。そうした取り組みで意思表示をすることをトレーニングできるのは素晴らしいことだと感じた。
- 協議を終えて委員からの感想
- ・教員が一生懸命に生徒と向き合っていることが伝わる内容であった。
 - ・教育活動のDX化を通じて更に生徒と向き合う時間を増やしてほしい。

令和 6年10月16日 (火) または30日(火)